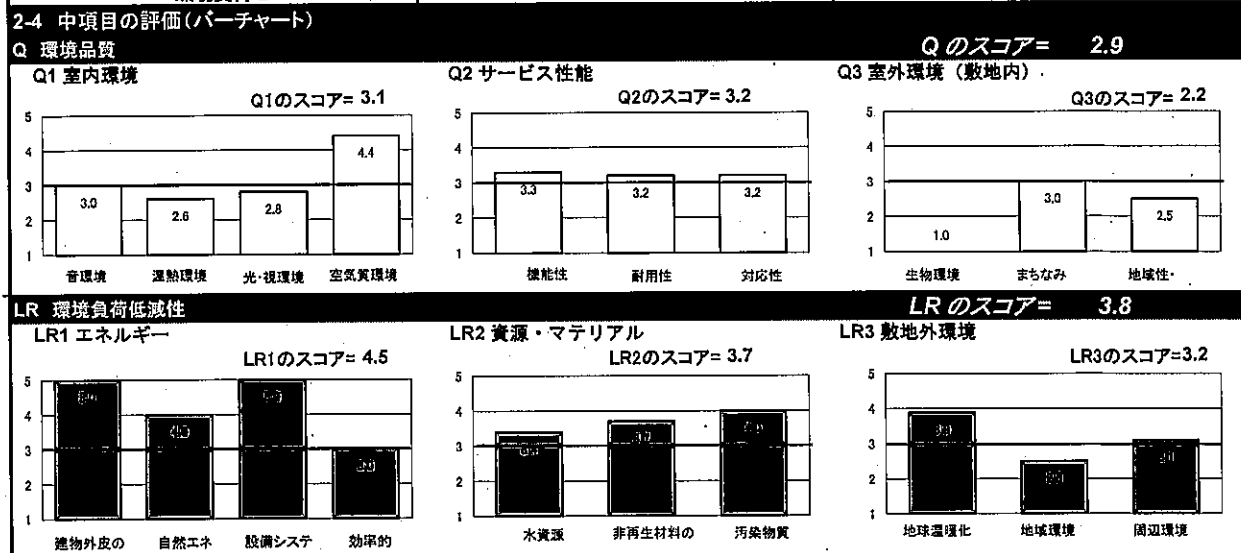
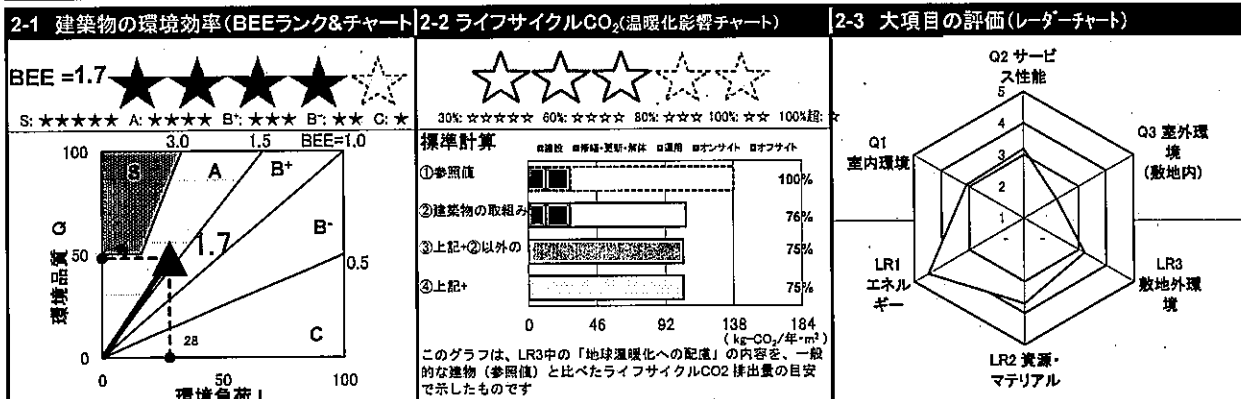


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(V1.1)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)みのやま病院増築工事	階数	地上3F、地下1F	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください	
建設地	京都府八幡市欽台北4-2、108、	構造	RC造		
用途地域	準工業地域、第一種中高層住居専	平均居住人員	0人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)		
建物用途	病院	評価の段階	基本設計段階評価		
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2023年3月6日		
敷地面積	3,847㎡	作成者	株式会社内藤建築事務所大阪事務所浪江明		
建築面積	789㎡	確認日	2024年12月10日		
延床面積	2,296㎡	確認者	株式会社内藤建築事務所大阪事務所浪江明弘		



3 設計上の配慮事項			その他
総合 自然光と自然換気を十分取り込めるよう開口部を設置し、快適な室内環境を確保している。また、省エネ機器を積極的に採用し、環境負荷の低減を図るとともに、建物の維持管理にも配慮した計画としている。			特になし
Q1 室内環境 開口部は、採光と自然換気が十分確保できる大きさとし、快適な室内環境となるように配慮した。	Q2 サービス性能 長期に建物を使用するにあたり、維持管理が容易な部材選定及び室の配置計画を行った。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし	
LR1 エネルギー 建築物の断熱性能を確保し、LED照明など高効率の設備を採用し、建築物の省エネルギー化に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水やリサイクル材など環境負荷の低減に配慮した設備を採用した。	LR3 敷地外環境 特になし	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される